

みずほCustomer Desk Report 2017/02/09 号 (As of 2017/02/08)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.46 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.38	1.0679	120.00	0.9983	1.2495	0.7620
SYD-NY High	112.55	1.0714	120.08	1.0000	1.2550	0.7666
SYD-NY Low	111.63	1.0641	119.33	0.9931	1.2475	0.7612
NY 5:00 PM	111.93	1.0698	119.74	0.9949	1.2545	0.7645
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.26/11.66	△25RR	0.585	Yen Call Over		
NY DOW	20,054.34	▲35.95	債券市場	日本2年債	-0.2150	▲0.4bp
NASDAQ	5,682.45	8.24		日本10年債	0.0980	▲1.0bp
S&P	2,294.67	1.59		米国2年債	1.1410	▲2.4bp
日経平均	19,007.60	96.82		米国5年債	1.8024	▲4.5bp
TOPIX	1,524.15	8.00		米国10年債	2.3363	▲5.7bp
シカゴ日経先物	18,960	▲10.00		独10年債	0.2960	▲5.4bp
ロンドンFT	7,188.82	2.60	為替市況	英10年債	1.2120	▲7.7bp
DAX	11,543.38	▲6.06		豪10年債	2.6950	▲0.1bp
ハンセン指数	23,485.13	153.56		USD/CNH	6.8422	0.0070
上海総合	3,166.98	13.89	商品市況	ドルインデックス	100.20	▲0.06
USDJPY 3M Vol	12.26	0.39%		CRB指数	192.265	0.89
USDJPY 6M Vol	11.74	▲0.02%		NY金	1,239.50	3.40
EURJPY 3M Vol	13.75	2.18%		WTI	52.34	0.17
EURJPY 6M Vol	12.91	▲0.03%		Dubai Spot	52.87	▲0.98

東京	東京時間のドル円は112.38レベルでオープン。日経平均が前日比小幅高で寄りつくと、ドル円は仲値にかけて上昇し高値112.55をつける。その後は、日経平均の伸び悩みや米長期金利の低下などを背景にドル円は112.04まで下落。尚、朝方発表された本邦経常収支・貿易収支は事前予想を上回って黒字額が拡大するも市場への影響は限定的。午後にかけては、米長期金利が低下幅を縮小し日経平均が上昇に転ずる中でドル円は値を戻し、112.27レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は112円台前半でレンジ推移。朝方は112.27レベルでオープン。終始方向感に欠ける展開となり112.00レベルでNYへ渡った。ボンドルも目立った材料がない中、1.25ちょうどを挟みもみ合う展開。朝方は1.2508レベルでオープンし、ロンドン時間午前8時前後に下値1.2475まで下落。その後は値を戻し1.25ちょうど近辺でレンジ推移し、1.2488レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルアリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	海外市場のドル円は112円台前半で方向感を欠く推移となり、112.00レベルでNYオープン。朝方は米国時間午後1時に行われる米10年債の入札を控え、米長期金利が低下する動きにドル円は一時111.63まで下落。しかし前日安値の111.59を意識されたこともあり、この水準では下げ渋った。その後ドル円は新規材料に欠く、111.80付近での推移が続いた。米10年債入札が弱い結果となり米長期金利が上昇すると112.22まで反発。しかし10日に日米首脳会談を控え様子見ムードが漂う中、積極的に上値を追う展開とはならずドル円は112.10を挟んでの推移となり、結局111.93レベルでクロスした。尚、インカ・トランプ氏のファッションブランド取り扱いを停止した件でトランプ大統領がSNSで米大手百貨店を批判したことや、マリア大統領夫人が悪質な記事を書かれたことでビジネス機会を奪われたとして英メディアを提訴するなど、大統領職務と家族の民間ビジネスの区切りが米メディア等で問題視されている。一方ユーロドルは1.0659レベルでNYオープン。米長期金利の低下を受けて1.0714まで上昇するが、1.07台では売り意欲も強く、弱い米入札結果を受けてドルが買い戻されたこともあり、1.0698レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:森谷・鶴田

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月8日	08:50	日銀金融政策決定会合(主な意見)	1月	-
	08:50	経常収支	12月	¥1112.2B
	08:50	貿易収支	12月	¥806.8B
	21:00	MBA住宅ローン申請件数	-	2.3%
2月9日	0:30	原油在庫統計	-	13,830K
				2,695K

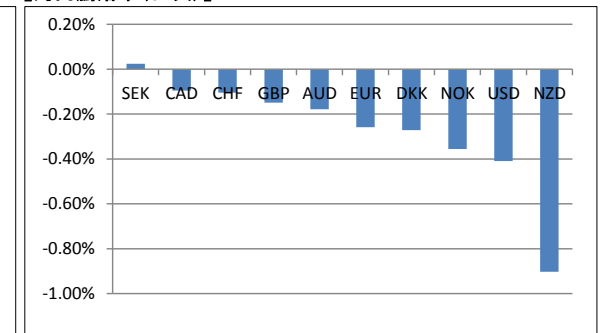
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月9日	08:50	対内・対外証券投資	-	-
	08:50	機械受注(前月比/前年比)	12月	3.0%/4.5%
	16:00	貿易収支	12月	20.5B
	16:00	経常収支	12月	24.8B
	22:30	新規失業保険申請件数	-	249K
	23:05	ブロード・セントルイス連銀総裁講演	-	-
2月10日	0:00	卸売在庫・確報値(前月比)	12月	1.0%
	3:10	エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.40-112.40	1.0600-1.0700	119.00-120.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は上値の重い推移となった。海外時間に入り米金利が低下すると、ドル円は一時111.63まで下落。米10年債入札の低調な結果を受けて米長期金利が上昇すると一旦112円台を回復するも、10日の日米首脳会談に対する警戒感が意識される中では一段と上値を追う展開とはならず、結局111円台後半でクロスした。本日のドル円相場は方向感に欠ける展開を予想。10日の日米首脳会談においてはトランプ大統領から為替水準や日銀の金融政策に対する批判発言が飛び出す可能性も否定できず、警戒感が残る中では積極的なドル買いは控えられよう。一方で、今週のドル円の値動きを確認すると、111円台半ば近辺がサポートラインとして強く意識されている模様。特段の新規材料が無ければこの水準を大きく割れて売られることも想定しづらく、上下双方向ともに明確な方向感の出づらな展開を予想する。